CANDY　全自動洗濯機 AQUAMATIC8T 操作早見表

■操作盤の各部名称

A．洗剤ケース
B．ドア開放ボタン
C．ON / OFFボタン
D．脱水キャンセルボタン
E．脱水スピード変更ボタン
I．洗濯温度設定ダイヤル
L．プログラム設定ダイヤル
M．プログラムガイド

■操作の手順

		[操作]
1	準備 ●分電盤のブレーカーを確認してください（初めて使用する場合） ●電源プラグを差し込み、水道の給水栓を開けてください	
2	洗濯物を分類して入れる　P2,3参照 ●ドア開放ボタンを押すとドアが開きます ●衣類のポケットの中に異物がはいっていないかよく確認してください ●衣類を生地の種類、汚れ、色落ちの有無等に分類し、よくほぐしてから入れてください ●故障の原因になりますので、洗濯物の入れ過ぎに注意してください ●洗濯物が少なすぎると脱水できない場合があります	B
3	プログラムを設定する　P2参照 ●プログラムを設定してください ●洗濯温度を設定してください（通常は常温もしくは30℃に設定してください） ●必要に応じて、オプション機能（脱水キャンセル/脱水スピード変更）を設定してください	L I D/E
4	洗剤及び液体添加剤を入れる　P3参照 ●ドラム式洗濯機対応洗剤を適量入れてください （少なめに使用してください）	A
5	運転スタート　P2参照 ●ON / OFFボタンを押してスタート	C
6	運転終了・洗濯物を取り出す ●洗濯終了直後、約2分間は安全装置が作動してドアは開きません ●ON / OFFボタンを押してプログラムを終了してください ●ドア開放ボタンを押して、洗濯物を取り出してください ●水道の給水栓を閉めてください	C B

■プログラムの選び方

【洗濯温度設定ダイヤル】
洗濯温度を設定します

※１
洗濯温度は高温洗いが必要な場合以外、
常温～30℃に設定してください。
温度が高すぎると、衣類が縮んだり、色落ちしたり、
傷む原因となります。
また洗濯温度が高いほど、洗濯時間は長くなります。

【プログラム設定ダイヤル】
洗濯プログラムを設定します（ダイヤルは洗濯工程を表しています）

衣類の素材・汚れの程度		洗濯プログラム	最大容量（kg）	工程	洗濯温度（℃）※1
綿及び綿混紡	ひどい汚れ	1	3.5	洗い→すすぎ（2回）→脱水（強）	90℃以下
	普通の汚れ	2			90℃以下
	軽い汚れ	3			40℃以下
化繊及び合繊 デリケート物	ひどい汚れ	6	2.0	洗い→すすぎ（2回）→脱水（弱）	60℃以下
	普通の汚れ	7			50℃以下
	軽い汚れ	8			40℃以下
	機械洗い可能なウール	9	1.0		40℃以下
すすぎ洗い（強）		4	3.5	すすぎ→脱水（強）	
脱水（強）		5	3.5	脱水（強）	–
脱水（弱）		10	2.0	脱水（弱）	–
予備洗い専用		A	3.5	洗い→排水	常温
排水専用		Z	–	強制排水	–

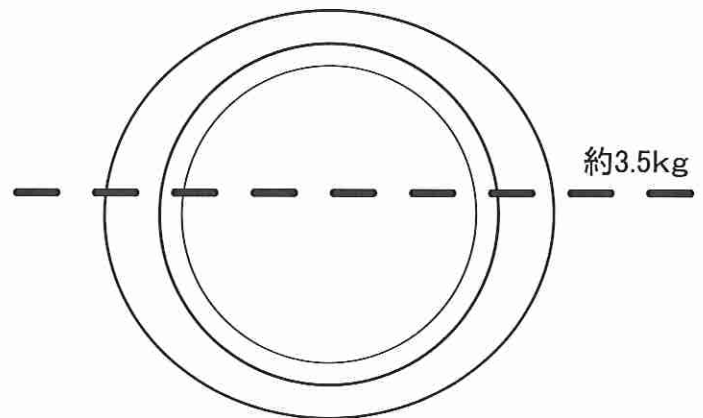
■オプションボタンの設定

■洗濯容量の目安

【洗濯物の重量】

作業着（上下）	約800g
ジーンズ	約600g
トレーニングウェア（上下）	約500g
パジャマ（上下）	約500g
シャツ	約200g
シーツ	約500g
バスタオル	約300g
ブリーフ/ショーツ	約50g
靴下	約50g

注！布地の厚さや種類、サイズによって重量は異なります

【衣類をドラムに入れた時の目安】

注！プログラムによって最大洗濯容量は変わります

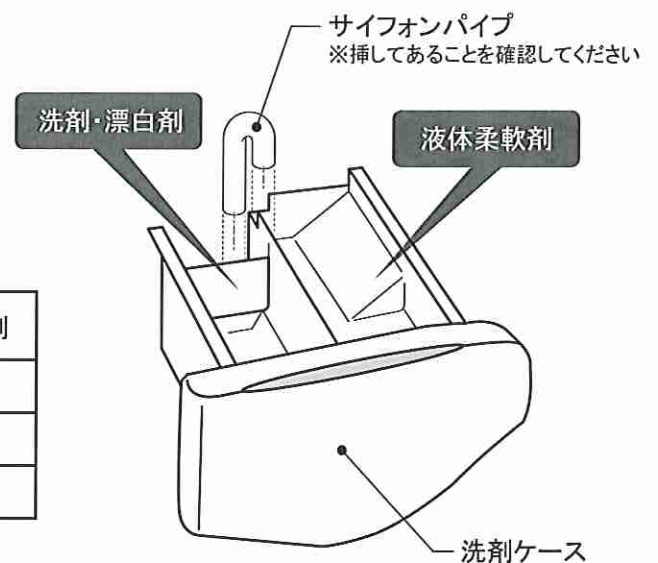
●洗濯物のポケットの中の物（コイン・ヘアピン・安全ピン・ゴム輪 等）は必ず取り出してください
●ファスナーやボタン・フックなどは閉じ、長いひもなどは軽く結んでください
●特にデリケートな衣類、小さな物、薄い靴下、ストッキング等は市販の洗濯ネットに入れてください
●洗濯ネットを使用する場合、脱水時の振動・故障を防ぐため、できるだけ小分けにし、他の衣類と一緒に洗濯してください
●落ちにくそうな頑固なしみは、部分手洗いやしみ抜きを行ってから洗濯してください
●厚いラグマットやベッドカバーなど硬いもの、大きなものは、脱水しないでください　故障や大きな振動の原因となります
●洗濯物が少なすぎると脱水できない場合があります（濡らしたタオル等を加えてもう一度脱水してみてください）

■洗剤量の目安

1. 洗剤ケースを引き出します。
適量の洗剤を量って、ケース左側に投入してください。
2. 必要に応じて液体柔軟剤をケース右側に投入してください。
（MAXの表示を超えないようにご注意ください）
洗剤ケースを静かに奥に押し入れてください。

<参考>

衣類の種類	最大洗濯容量	洗剤	液体柔軟剤
綿及び綿混紡	3.5kg	約15g	約30ml
化繊及び合繊	2.0kg	約10g	約20ml
デリケート洗い	1.5kg	約10g	約20ml

注！上記の量はあくまでも目安です

●洗剤は泡立ちが少なく溶けやすい、ドラム式洗濯機対応洗剤を使用してください
●柔軟剤・酸素系漂白剤等は液体のものを使用してください（使用上の注意をよく読んで使用してください）
●塩素系の漂白剤はドラムを腐食させてしまうので使用しないでください
●洗濯時に泡立ちすぎたり、使用後に洗剤ケースに洗剤が残っていたりした場合は、洗剤の入れすぎです
水漏れの原因となりますので、洗剤を少なくして使用してください

■お手入れの仕方

運転終了後、必要に応じて下記のお手入れを行ってください。

定期的に

洗剤ケース
洗剤ケースを引き出して取り外し、 水洗いをしてください。

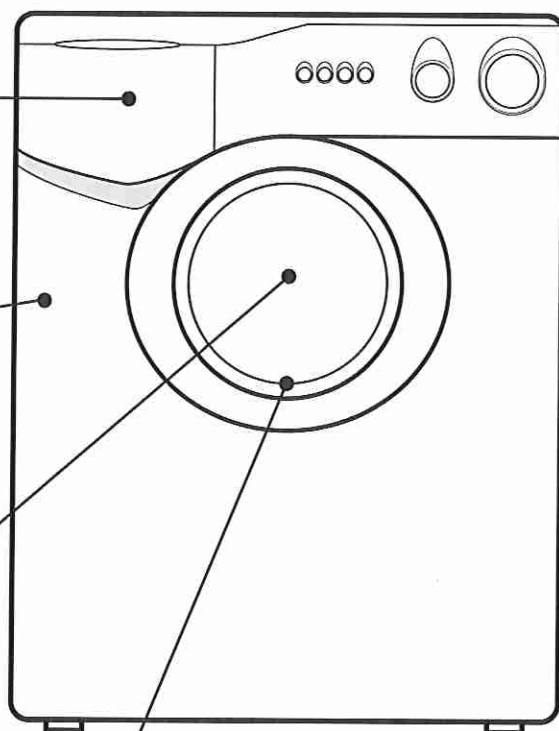
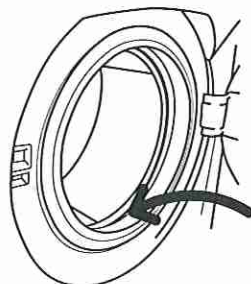
汚れが気になったら

本体・ドア・操作パネル
湿らせた布で拭いてください。 注！研磨剤、アルコール、有機溶剤などは使用しないでください。

定期的に

洗濯槽
洗濯槽の洗浄には、市販のドラム式洗濯機に対応した洗濯槽 洗浄剤をご利用ください。 ご使用の際は、必ず洗浄剤の使用方法に従って行ってください。

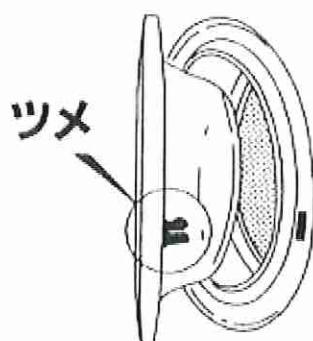
運転後、毎回

ドアパッキン
ドアパッキンの溝や表面に水や泡が残っていたら拭いてください。 糸くずや異物が付いていたら取り除いてください。 カビの発生やドラム内に臭いが滞留するのを防ぐため、 使用後しばらくはドアを開けたままにしておいてください。

故障？　サービスコールをする前に

症状	考えられる事項		処置
作動しない	電源コンセントが抜けていませんか	→	確認して下さい
	ON/OFFボタンをONにしましたか	→	スイッチをONにしてください
	ブレーカーが落ちていませんか	→	確認して下さい
	ドアはしっかり閉まっていますか	→	確実に閉めて下さい
	停電又はヒューズがとんでいませんか	→	確認して下さい
ドラム（洗濯槽）に水が入らない	給水バルブは開いていますか	→	バルブを開けて下さい
	間違ったプログラムを選んでいませんか	→	正しいプログラムにしてください
排水されない	排水ホースが折れ曲がっていませんか	→	まっすぐにして下さい
	プログラム設定ダイヤルを『Z』に合わせてください	→	排水します
	プログラム設定ダイヤル『Z』で排水しない	→	サービスコールして下さい
水が床に漏れている	洗剤の量が多すぎませんか	→	洗剤を少なくして下さい
	排水ホースの接続が悪い	→	確認して下さい
脱水しない	脱水キャンセルボタンを押していませんか	→	確認して元に戻してください
	脱水スピード変更ボタンを押していませんか	→	ソフト脱水しかしません ソフト脱水　400回転/分 通常脱水　800回転/分（ダイヤル5）
泡が出すぎる	洗剤の量が多すぎる	→	洗剤の量を少量にしてください
洗濯終了後ドアが開かない	安全装置が働いている為洗濯終了後すぐにドアは開きません	→	2～3分待ってください

＊　入居されたばかりの方は水道の給水バルブが開いているか確認してください。

＊　外出時のご使用は止めて下さい。

＊　ドアのツメが折れていない事を必ず確認して下さい。
なお、ドアの開閉は静かに行ってください。

株式会社　ツナシマハウスウエア
東京都文京区湯島2－18－12
TEL　03-3815-8121
FAX　03-3815-7941

＊受付時間：AM9:00～PM5:00
＊休日：土曜,日曜,祭日

安全上のご注意

●ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠ 警 告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
⚠ 注 意：人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容。

（絵表示の例）

△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
●本体を他の人に譲渡されるときは、この取扱説明書を必ず添付してください。

⚠ 警 告

電源は交流単相200V、20Aアース付きのコンセントを単独で使ってください。他の電源を使うと火災・感電の原因になります。また、他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。
また、重い物をのせたり、狭み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

コードや電源プラグが傷んだり、コンセントへの差込みがゆるいときは使用しないでください。
感電・ショート・発火の原因になります。

電源プラグは、刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。火災の原因になります。

アースを確実に取り付けてください。故障や漏電の時に感電する恐れがあります。アースの取り付けは販売店にご相談ください。

浴室や風雨にさらされる場所など、また湿気の多い場所には据え付けないでください。感電・火災・故障・変形の恐れがあります。

⚠ 警告

ドラム内には灯油、ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコール等や、それらが付着した洗濯物を入れたり近付けることは、絶対に行わないでください。爆発や火災の恐れがあります。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。
やけど・感電・けがをする恐れがあります。

幼児にドラムの中をのぞかせないでください。また、洗濯機の近くに台を置くなどしないでください。ドラムの中に落ちてけがをすることがあります。

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、濡れた手で抜き差ししないでください。
感電やけがをすることがあります。

火のついたローソク、蚊取り線香、煙草などの火気を近付けないでください。
火災や変形の恐れがあります。

脱水中にドアロックが解除し、ドアを開けることができる場合は直ちに使用を中止し、修理を依頼してください。
けがの原因になります。

お手入れをする時などは、本体各部に直接水をかけないでください。
ショート・感電の原因となります。

改造はしないでください。
修理技術者以外の人は、分解したり修理をしないでください。火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い求めの販売店または当社の「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

動かなくなったり、異常がある場合は、事故防止のため、すぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店又は当社に必ず点検・修理をご依頼ください。
感電や漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。

⚠ 注 意

専用洗剤以外は使用しないでください。
洗剤は低発泡性のドラム式洗濯機専用洗剤をお使いください。故障や泡漏れの原因となる場合があります。
「スーパーダッシュ」など

防水性のシートや衣類は洗わないでください。脱水中に異常振動して、けがをする恐れがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
感電やショートして発火することがあります。

お洗濯前には必ず蛇口を開いてホースの接続を確認してください。
ネジが緩んでいると、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。

洗濯機の上にのぼったり、重い物やこわれやすい物をのせたりしないでください。変形・破損によりけがをしたり、振動によりのせた物が落下・破損する恐れがあります。

ドアを閉める際に、衣類をはさまないでください。水漏れや故障、衣類を傷める原因になります。

長期間ご使用にならない時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

本機は給水接続専用機ですので、給湯接続はしないでください。
故障の原因となり、また乾燥能力が著しく低下します。

金属粉、金属片、硬貨や小物などは必ず衣類から取り除いてください。
感電や故障の原因になります。

使用場所の機器周囲温度が0℃以下になる場所では使用できません。
凍結により、機器がこわれたり、作動しないことがあります。

廃棄処分する時は、ドアを取り外してください。
子供が閉じこめられる恐れがあります。

ジーンズやバスタオル等のかさばる物や洗濯ネットに入れた物は、単独では洗わず、他の物と一緒に洗濯してください。脱水中に異常振動して本体が動いたり、周囲の壁等を傷つける恐れがあります。

ワイヤー入りブラジャー等は専用の細目ネットに入れてください。ワイヤーが飛び出すとドラムを傷つける恐れがあります。
薄物などの傷みやすい衣類も、洗濯ネットに入れてください。
洗濯ネットに入れた物は、単独では洗わず、他の物と一緒に洗濯してください。
脱水中に異常振動して本体が動いたり、周囲の壁等を傷つける恐れがあります。

電源コードが破損し交換する場合は、必ず製造業者、もしくはその代理店、または同等の有資格者により行ってください。
コード交換は危険を防止するため、純正品をご使用ください。

防水性のシートや衣類は、洗い・すすぎ・脱水をしないでください。脱水中の激しい振動や転倒による、けが、洗濯機・壁・床などの損壊、洗濯物の損傷、水漏れ被害などのおそれがあります。
(たとえば、寝袋、おむつカバー、サウナスーツ、ウエットスーツ、雨ガッパ、自転車・バイク・自動車のカバー、スキーウエアー、防水シートなど)

⚠ 注 意

玄関マット・足拭きマットなど厚くて固いものは、洗濯機で洗えると表示されていても洗濯しないで下さい。脱水中の異常振動や転倒によるけが、周囲の壁・床・洗濯機などの損壊、洗濯物の損傷などの恐れがあります。

ペットの毛が付着した敷物・マット類は洗濯しないでください。
毛や糸くずなどがたまりやすく、性能が低下する原因になります。
故障や水漏れの原因となり、思わぬ被害を招くことがあります。

衣類を出し入れする時は、ドアパッキンに衣類の金具等が接触しないようにしてください。衣類の金具等により無理な力が加わるとドアパッキンが変形、破損し、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。

ご使用前に、ドアパッキンの表面及び扉裏のガラス面に糸くずなどの異物が付着していないことを確認してください。ドアの密着が確保できず、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。

洗濯終了後、2分間はドアはロックされて開きません。
ドアロックが掛かっている状態で、無理にドア開放ボタンを押すと、故障の原因になります。

固まった洗剤はそのまま使用しないでください。固まりが内部で詰まり、水漏れ等の思わぬ被害を招くことがあります。

純毛の毛布・電気毛布・ロングパイル（毛足10mm以上）の毛布・カーペットカバーは洗濯しないでください。
毛だおれするなど洗濯物を傷めたり、故障の原因になります。
異常振動や転倒によるけが、周囲の壁・床・洗濯機などの損壊、洗濯物の損傷などの恐れがあります。

座布団・枕・ふとんなど、綿やウレタン（スポンジ類）を使ったもの（ベットマットも含む）は洗濯しないでください。
異常振動や転倒によるけが、周囲の壁・床・洗濯機などの損壊、洗濯物の損傷などの恐れがあります。

市販の洗濯補助具（洗濯ボール・ゴミ取りフィルターなど）は使用しないでください。変形・破損などにより、洗濯機を傷めたり、故障の原因となります。

水が抜けやすい衣類（フリース等）と、水が抜けづらい衣類を同時に脱水すると、ドラムのバランスが崩れやすくなります。
洗濯物が片寄りやすいため、振動が大きくなり脱水が出来なくなることがありますので注意してください。